

平成24年度事務事業評価表（基本）

事務事業名	広報かつしか発行	重点評価 区分	重点	担当部	政策経営部
				担当課	広報課

基本情報

1 事務事業の概要

開始年度	昭和23年度	根拠法令	
性質区分	広報・広聴	実施形態	区単独（委託）
対象者	地域住民		
裁量区分	あり		
実施内容 （事務事業の実施 内容、手段、過去 の改善実績等）	<p>【掲載内容】 区の基本的な計画、施策の方針 各種講座、行事等の紹介 各種届出、申請、募集の案内 休日応急診療案内</p> <p>【発行形態】 タブロイド版2色（24回）、4色（12回） 発行は毎月5日・15日・25日（8頁、正月号のみ4ページ）36回 発行部数 - 227,550部（平成24年度予算） 視覚障害者向け テープ版：毎号47本 点字版：毎号23冊（平成24年度予算）</p> <p>【発行体制】 区職員 紙面の企画・編集・取材、各課との調整、校正 委託 印刷・配布</p>		

2 施策及び事務事業意図

施策	名称	
	意図	
事務事業意図	区が行う施策その他区民に密接な関係をもつ事項の周知を図り、区民に開かれた区政の推進に寄与する。区民が、区の行政情報を迅速かつ的確、確実にわかりやすく入手する。	

実績情報

1 成果指標の達成状況

成果指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
世論調査で、区に関する情報の入手手段は「広報かつしか」からと回答した人の割合	葛飾区世論調査	%	目標		90.00	
			実績		87.30	
			目標			
			実績			

2 活動指標の達成状況

活動指標	指標の根拠	単位	区分	21年度	22年度	23年度
発行部数（号平均）		部	目標	225,000	223,500	225,650
			実績	220,183	222,992	225,180
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			
			目標			
			実績			

3 コスト内訳（決算）

項目		単位	21年度	22年度	23年度
収入	特定財源				
	国庫支出金	千円	0	0	0
	都道府県支出金	千円	733	715	0
	その他	千円	11,777	13,466	9,607
一般財源（a）		千円	128,310	137,735	131,935
支出	直接事業費（b）	千円	106,800	104,936	103,142
	消耗品費	千円	115	67	66
	印刷製本費	千円	35,628	33,702	31,133
	修繕料	千円	0	0	97
	通信運搬費	千円	85	80	76
	保険料	千円	7	4	4
	委託料	千円	70,964	71,025	71,766
	償還金	千円	0	58	0
		千円			
	職員人件費（c）	千円	34,020	46,980	38,400
	人件費	千円	34,020	46,980	38,400
		人	4.20	5.80	4.80
	再雇用職員	千円	0	0	0
		人	0.00	0.00	0.00
	間接費（d）	千円	0	0	0
	調整額（e）	千円	2,940	5,220	4,320
減価償却費	千円	0	0	0	
金利	千円	0	0	0	
退職給与引当	千円	2,940	5,220	4,320	
（控）コスト対象外	千円	0	0	0	
トータルコスト（f） （b+c+d+e）	千円	143,760	157,136	145,862	

4 単位あたりコスト

項目	単位	21年度	22年度	23年度
単位の定義		延べ媒体発行部数		
実績数値（g）	部	7,926,595	8,027,729	8,106,452
単位あたり区単コスト（a/g）	円	16	17	16
単位あたりコスト（f/g）	円	18	20	18

平成24年度事務事業評価表（重点評価）

事務事業名	広報かつしか発行	担当部	政策経営部
		担当課	広報課

過年度の実績状況の評価と今後の方向性

実績状況の評価	<p>世論調査（22年度）で、区に関する情報の入手手段は「広報かつしか」からと回答した人の割合は、前回調査（19年度）より2ポイント減少している。インターネット環境の急激な普及、スマートフォンのなどの端末機器の革新に加え、区公式サイトのリニューアル、はなしょうぶコールの開設など、区情報を取り巻く環境が変化しているためと考えられる。また、点字、テープ版の利用者数は減少傾向にある。点字、テープを利用しない視覚障害者にも広報かつしかが読める環境整備が必要である。</p>	
今後の方向性	改善	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの区民に、さまざまな情報入手手段とともに、手に取ってもらえる「広報かつしか」になるよう質の高い紙面づくりをする。（例：はっとする紙面、見やすく分かりやすい紙面、区民の表情や活動が見える紙面、区に愛着を感じる紙面など） ・視覚障害者向けの点字・テープ版に加え、ディスク版やインターネット環境を活用した声の広報などのサービスを検討する。
	継続	

「今後の方向性」に基づく取組内容

1 今後の成果指標の目標値

成果指標	指標の根拠・計算式など	単位	区分	24年度	25年度	26年度
			目標			
			目標			

2 今後の活動目標及び活動指標の目標値

活動目標	視点	活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度
				目標			
				目標			
				目標			
				目標			